

## R3後期 教職員アンケート

評価の観点	A	B	C	D	人数計	A+B	前期A+B	増減
朝学習やドリルタイムでは提案された内容を計画的に実施している	3	5	0	0	8	100.0	100.0	→
ロードマップに沿った学力向上対策を実施している	4	6	0	1	11	90.9	90.0	↗
ゴールの姿をイメージして授業している	3	7	0	0	10	100.0	80.0	↑
授業や補充学習等で、一人一人の様子を見取り、対処している	3	6	1	0	10	90.0	100.0	↓
少人数の利点を生かし、充実した個別指導を行っている	4	6	0	0	10	100.0	100.0	→
家庭学習の内容や仕方を指導している	3	5	0	0	8	100.0	100.0	→
校内研修会やOJTが計画的に行われている	9	2	0	0	11	100.0	100.0	→
OJTは職員の力量アップにつながっている	6	5	0	0	11	100.0	100.0	→
専門性を生かしたOJTが行われている	6	5	0	0	11	100.0	100.0	→
役割と責任を完結できるように校務の運営を行っている	5	5	0	0	10	100.0	100.0	→
自分の校務に関する効率化を図っている	4	6	0	0	10	100.0	90.0	↑
外部人材を活用している	5	6	0	0	11	100.0	100.0	→
短時間で能率的なスタッフ会議を行っている	6	4	0	0	10	100.0	100.0	→
改善意識をもち、計画・実施・反省により次回につなぐ学校運営に参画している	1	9	0	0	10	100.0	100.0	→
保育所・小中学校・高校の連携が図られている	1	7	1	0	9	88.9	75.0	↑
管理職への報連相の徹底を意識して行っている	10	1	0	0	11	100.0	100.0	→
全職員が助け合い・連携し合いながら協働的に仕事をしている	5	6	0	0	11	100.0	100.0	→
PDCAサイクルを意識した学校運営が行われている	4	6	0	0	10	100.0	90.0	↑
学校評価をもとに学校改善にむけた取組が行われている	4	6	0	0	10	100.0	100.0	→
校内研修(学校研究含む)は授業改善や教師の力量の向上につながっている	5	5	0	0	10	100.0	100.0	→
職員は意欲的に校内研修に関わっている	6	4	0	0	10	100.0	100.0	→
時刻を区切り、適正な勤務時間としての働き方ができている	5	5	1	0	11	90.9	81.8	↑
適正な勤務時間で働くことができる環境を整えている(取組 方策 環境整備 等)	3	6	1	0	10	90.0	90.0	→
学級だより等を通して学校や学級の様子を知らせている	2	7	0	0	9	100.0	100.0	→
ホームページの更新により情報発信が行われている	1	8	0	0	9	100.0	90.0	↑
家庭や地域からの声を適切に受け止め、学級や学校の運営に生かそうとしている	2	8	0	0	10	100.0	100.0	→
地域や地域人材の学習資源を生かした活動を行っている	2	7	2	0	11	81.8	90.0	↓
保護者との連絡を密にし、保護者との信頼関係を築くよう努めている	5	5	0	0	10	100.0	100.0	→
児童の地域等(PTA活動 地域行事)への参加を呼びかけている	0	3	4	0	7	42.9	66.7	↓
学習内容を発表することを想定した授業づくりをしている	3	6	1	0	10	90.0	100.0	↓
全校や保護者、地域の場で表現する活動を設けている	5	4	2	0	11	81.8	88.9	↓
授業や各活動において、相手意識を持った表現活動ができるように指導している	4	6	0	0	10	100.0	81.8	↑
道徳の授業の充実を図っている	6	3	0	0	9	100.0	100.0	→
外国語の学習に積極的に取り組んでいる	2	5	1	1	9	77.8	87.5	↓
GIGAスクール構想の実現に向けて積極的に実践を積み重ねている	3	4	2	0	9	77.8	80.0	↘
ICTを活用した授業やその他の活動に取り組んでいる	3	5	2	0	10	80.0	81.8	↘
〇若手育成プログラムは計画的に実施されている	2	8	0	0	10	100.0	100.0	→

評価の観点
○日常的OJTが若手の教育実践に活かされている
読書活動を推進し、読書量増加につなげているか
アンテナを高くし、児童の変化を見取り適切に対応している
生徒指導主事を中心とした組織的な対応が取られている
いじめを生まないために、児童相互のよりよい人間関係づくりに努めている
生活目標に対して、具体的な取組をしている
挨拶や言葉遣いについて指導している
食育を行い、給食指導をしている
清掃指導をしている
体育の授業や対外行事等で児童の体力向上に努めている(1校1プラン スポチャレ)
養護教諭を中心に児童の健康管理や健康づくりのための取組が行われている
支援を必要とする児童のニーズを共通理解し、職員全員で対応している
生徒指導や特別支援教育の充実のため、児童理解の会や支援委員会は機能している
危機意識を持ち安全点検や研修会を行い、有事に備えている
様々な災害に対応するための避難訓練が計画的に行われている
児童は目標を意識し、その達成のために努力している
児童は授業や行事等の取組を通して、自己肯定感や自己有用感が高まっている
児童は自分の役割に責任を持ち活動している
体験・交流活動を通して、児童の心は育っている
①児童の興味・関心・意欲を引き出す問題提示をすることができた。
②問題文中の、聞かれていること、分かっていることに線を引かせることができた。
③毎時の課題を、児童とともに作り上げることができた。
①問題を解く前に、解決の見通しを持たせることができた。
②自力解決をする際は、考えの根拠(自分の経験、叙述、図、表、グラフ、写真・絵、実験結果など)となるものを挙げさせることを指導できた。
③グループ学習において、児童全員が考えを交流するよう指導できた。
④全体交流の際に、児童にナイスな聞き方・話し方をするよう指導できた。
①課題に合ったまとめを考えるよう、児童に指導できた。
②毎時間、適用問題を設定することができた。
③毎時間、ふり返りの時間を設定することができた。

A	B	C	D	人数計	A+B	前期A+B	増減
4	6	0	0	10	100.0	100.0	→
1	9	0	0	10	100.0	90.0	↑
5	6	0	0	11	100.0	100.0	→
3	8	0	0	11	100.0	100.0	→
6	5	0	0	11	100.0	100.0	→
4	7	0	0	11	100.0	100.0	→
6	5	0	0	11	100.0	100.0	→
3	8	0	0	11	100.0	100.0	→
6	4	1	0	11	90.9	100.0	↓
3	8	0	0	11	100.0	90.0	↑
7	4	0	0	11	100.0	100.0	→
5	5	0	0	10	100.0	100.0	→
7	3	0	0	10	100.0	100.0	→
5	6	0	0	11	100.0	100.0	→
10	1	0	0	11	100.0	100.0	→
1	10	0	0	11	100.0	84.6	↑
2	9	0	0	11	100.0	92.3	↑
3	8	0	0	11	100.0	100.0	→
4	7	0	0	11	100.0	100.0	→
1	8	1	0	10	90.0	90.0	→
5	2	2	0	9	77.8	66.7	↑
2	7	1	0	10	90.0	77.8	↑
3	5	2	0	10	80.0	100.0	↓
3	5	2	0	10	80.0	77.8	↗
3	4	2	0	9	77.8	77.8	→
5	4	1	0	10	90.0	77.8	↑
4	5	1	0	10	90.0	88.9	↗
0	5	4	0	9	55.6	55.6	→
1	7	2	0	10	80.0	80.0	→